

友達同士として

Between Friends

R.I.会長 ビル・ハントレー

Bill Huntley
President, R.I.

October 1994

職業奉仕

Vocational Service

私たちは、ロータリーの第2奉仕部門である職業奉仕を、最も重要な奉仕として語り合っています。「これこそが私たちの本質を表すものです」などと私たちは言います。しかし、1987年に開かれた国際ロータリー職業奉仕委員会が、40年ぶりに開催されたものであることを皆さんはご存じでしょうか。この会合は、そうした事情にもかかわらず、それまで私たちが職業奉仕に対して抱いてきた見方に新しい方向性を打ち出しました。

長年にわたってロータリアンは、職業に関しては完全に個人的に取り組むのがロータリーのやり方であるととらえてきました。私たちがやるべきことは、「四つのテスト」を実施することなのだという考え方です。しかしながら、1987年の当委員会の会合は、職業奉仕の責任は単にクラブ会員個人の問題にとどまるのではなくロータリークラブの問題でもあることを強く表明したのです。この認識こそが、職業奉仕に全く新しい方向性を与えたのです。

しかしこの力点の大きな変化がもたらすもろもろの重大な結果について、果たしてロー

タリアンの多くが正しく理解をしているでしょうか。

この新しい概念がもたらす最も顕著な相違点は、職業奉仕を地域社会に直接かかわるものとしてとらえることだと私は考えます。どうしてでしょうか？ それは、ロータリークラブは今や、その地域社会のためにクラブの会員たちが自分たちの職業上の才能をフルに活用できるよう、個々のプロジェクトを実施し、促進し、発展させる責務を負っているからです。

近年、社会が大きな変ぼうを遂げるのを私たちはこの目で見てきました。旧来の産業や古来からの職業はすでに過去のものとなりました。息子が父親にならって同じ職業に就くこともなくなりました。いくつかの地域では、こうした職場上の変化により地元の経済全体が破壊されてしまいました。しかしロータリアンは、職業奉仕を通して、このような病める地域に希望と安定を再びもたらすことができる者たちなのです。

多くの地域で、職場における必要技能の変化に地元の労働者が後れを取らないようにするために、職業再訓練が不可欠のものとなっています。皆さんのクラブがその会員の特殊技能を生かすための就職相談小委員会を設置されるよう、私は希望します。ロータリアンは、求人市場についての情報を持っています。

トルコのアダバザルRCが後援する職業クラスで、石積みのしっくい部を山形目地で仕上げの作業やその他建築業の技術を学ぶ10人の聴覚障害を持つ若者たち。同クラブはまた、これら新人建築労働者たちがクラスのコース終了後、フルタイムの仕事に就けるよう援助しました。



私たちは、職業情報討論グループを組織し、若者たちを私たちの工場や職場に招いて学習させることができます。地域社会全体における職業選択の機会についての単なる知識不足から、若者たちが自分に最適とはいえない職業を選んでしまうことがよくあります。

多くの地域社会に、高齢であるが故に無視されてしまっている高度熟練労働者が数多くいます。しかし、こうした高齢者たちがその職業にもたらすことのできる経験や安定感や責任度の高さといったものは、私たちが活用することなく無駄にしてしまうことの許されない資産であります。適切な奨励措置をもってすれば、高齢労働者の再訓練は極めて大きな成果を生むでしょう。皆さんや皆さんのロータリークラブがこのような過程に援助の手を差し伸べることができるのではないのでしょうか。

職業奉仕というものは地域社会のニーズをしっかりと把握している程度にまで拡大し、職場におけるこうした問題のいくつかに対応できるようになっていなければなりません。緊急な対応を要するニーズのひとつは、ある種の職場における職務遂行に必要な水準に達し

ない機能的非識字の実体を見極めることです。この問題については、ロータリアンたる雇用者は、国際ロータリー機能的識字率向上委員会が作り上げた各種の手段を利用することで大きな貢献を成すことができます。小冊子『文盲からの脱出』(PA2-601-JA)は、今なお、この問題に関して参考になるものです。これをご覧いただき、お読みください。

何らかの形で身体的な障害を持つ人たちのことも忘れてはなりません。彼らの多くは、その地域社会の社会生活・労働生活に積極的に価値ある貢献を成すことにより、自らの障害を克服することができるのです。彼らに必要なのは、そうするための機会を与えられることだけなのです。ロータリアンはまた、私たちの地域社会の他のメンバーが成した職業上の意義ある努力に対して報いることができます。これは、地元の商工会議所と協力して活動する良い機会ともなるでしょう。

職業奉仕は間違いなく直接参加に無限の機会を提供するものです。ロータリアンとして、あなた自身の地域社会に個人的関心を示すこの機会をしっかりとつかんでいただきたいと思います。

(R1指定記事)

私も耕している



『ロータリーの友』委員会
顧問 大森 慈祥(茨木)

お釈迦様がインドのあちこちで教えを説いて回っておられた時のことです。

農家の人たちは、みんな畑に出て働いていました。スキヤクワで畑を耕す者、耕したところに種を蒔く人、みんな忙しく汗を流して働いていました。

そんな畑のそばを通りかかったお釈迦様に一人の農夫が言いました。

「お坊さん、私は畑を耕し、種を蒔いて、食を得ている。あなたも自ら耕し、種を蒔いて、食を得られたらどうですか」

お釈迦様はお答えになりました。

「私も耕し、種を蒔いて、食を得ている」

農夫はいぶかしげに言いました。

「でもあなたが畑を耕し、種を蒔いている姿を見たことがない。あなたのクワはどこにあるのですか。あなたは何の種を蒔くのですか」

その時、お釈迦様がお答えになったお言葉が経典に出ています。

「信は我が蒔く種子である。智慧は我が耕すクワである。身口意の悪業を制するは、我が田における除草である。精進は我がひく牛にして、行いて帰ることなく、我を安らげき心にはこぶ」

農業の営みは、荒地を耕して畑とし、良い田を作って、より多くの収穫を得ることであり、そしてそれを世の中に提供することです。同じように、仏教は、人間の荒れた心を耕して美しい心を作り、本当の人間らしさを、本当の幸福を得させようという営みです。

そのような宗教家といえども霞^{かすみ}を食って生きているわけではありませんから、畑を耕したり機械を作ったりはしないにしても、つまりは食を得るために働いていることに何の違いもありませんが、しかしそれは、耕したり、物を作る人たちと同じように、世の人々のためになくはない職業であるわけで、宗教家たる者はそのようにしっかりと自覚して、日々の業務に励むべきなのです。そのように自覚して日々の業務に励むということが、つまりロータリーの[※]職業奉仕の基本ではないかと思うのです。

およそどのような職業でも、それが世の中のためになればこそ、職業として成り立ちます。私たちの職業は必ず社会のためになり、そして社会がそれを要求します。その要求に応じて社会のためになるとき、はじめて職業として成り立ちます。

交通事業、郵便、電話、学校などが公共事業といわれるのは、これらの事業がすべて公共の福祉のためのものだからです。しかし、これらの事業だけが公共事業ではないのです。お米作りも、自動車産業も、商店街のお店も、みんな公共事業なのです。みんなのためになくはない公共福祉の事業なのです。

どのような職業でも「私も耕している」「私もお役にたっている」という自覚にたって、自己の職業に精を出す。そのような精神がロータリーの職業奉仕の基本ではないでしょうか。

真実を告げるべきか どうか



『ロータリーの友』委員会
顧問 國府 敏男 (福岡城東)

「私は夕方長屋に帰りましたが、隣のB女がおりません。私は不審に思って近所に聞いて回ったところ、B女は西新の赤線に身売りをしてしまったことがわかりました。これを聞いて私はがく然としました。そして、どうしても私は一番目の客にならなければならないと思ったのです。一年前に私がこの長屋に住むようになったとき、既にB女はこの長屋に住んでいて、年老いた父親と乳飲み子を抱いて、女の細腕で屋台を引いて稼いでいました。私は定職を持たず、窃盗を繰り返して刑務所を出たり入ったりしていた人間ですから、そんな資格はないかもしれませんが、私はそのようなB女に同情し、かわいそうに思って、屋台の手伝いをするようになり、いまでは毎夜屋台を引いてやっていたのです。そしてB女と将来は所帯を持ちたいと考えようになっていました。

その日私は手元に金がなかったので、B女のお客になるために金をつくらうと思い、ナイフをポケットに入れて長屋を出ました。郊外の住宅地で強盗でもいい、金をとろうと考えて、建物の陰にひそんでおり、ちょうど帰宅途中の会社員らしい人が目の前にきたとき、いきなり、ナイフを突き刺して、倒れたところを、ポケットからお金を抜きとり、私は一目散に西新の赤線に向かって走り続けました。B女のいる赤線にたどりついたときは、靴はぬげて足は泥だらけ、ズボンやシャツもいたるところ破れていましたが、B女と思いをとげることができました。被害者の方は亡くなったと聞きましたが、申しわけなく思います。私がつったお金は3,000円ぐ

らいだったと思います。私はこんな男ですが、それでも一生のうちで一度でもB女を愛し得たということは無上の喜びです」

強盗殺人罪で起訴されたAの自白調査は上記のようなもので、国選弁護人に選任された私が、警察の留置場ではじめてAに面接したとき、Aは極めてのんきであり、自己の犯罪に対する法定刑がどのようなものであるかを知らずにいるように見受けられた。強盗殺人罪の法定刑は死刑か無期懲役である。私は弁護士として、これをAに告げるべきであるか否か大いに悩んだ。しかし検察官の論告求刑の際には分かることであり、その時驚愕してわれを失わせるよりは、あらかじめ知らすべきではなからうか。このとき私に教えてくれたのは、[※]四つのテストの「真実か どうか」という行動規範である。

私は真実を告げるべきであると決断して、次の面接の際にAに法定刑を告げた。Aは案外平静に私の話を聞いていたが、その後1週間ほど留置場内において手がつけられないほど暴れたということであった。私はAに安心立命して刑台に上ることを説いていたが、案の定、Aは死刑を求刑され、私は芥川[※]の作品を借りて、蜘蛛の糸を垂れたまえ、と述べるしかなかったのであるが、判決では無期懲役が言い渡された。

私は職業奉仕というのは、まずわが職業を大切にし、誠心誠意、^{真摯}にこれを行うことであり、それによって特定の人からはじまって一般に信頼を勝ち得、もって社会に奉仕することであると思っている。これは私のひとつの職業奉仕の例である。 第2700地区(福岡・佐賀・長崎)PG



ロータリアンとロータリアン企業の

ボランティア活動

ロータリアンがロータリー活動以外で、個人的にしているボランティア活動について、本年5月号横組み24～29ページに掲載致しました。

その後、前年度各ガバナー事務所のご協力を

いただいて、会員個人のボランティア活動の中で、特に職業を生かした活動と、会員の企業で行われているボランティア活動について調査しました。今月号ではその結果を報告致します。

ロータリアン個人の ボランティア活動

第2500地区 旭川北 藤田 正文 (小児科医)

1993年12月末から1994年3月末まで、カンボジア・プノンペン市立病院において、小児医療を通じ、医療技術協力を行った。

第2500地区 旭川西 高橋 順 (精神科医)

日本ケアシステム協会運営委員兼募金委員長、こすもす作業所理事 (精神障害者小規模授産施設)。前記団体とロータリークラブの例会を組み合わせ、PR、奉仕を積極的に行っている。

第2500地区 帯広 進藤 恒彦 (循環器科医)

ボーイスカウトの育成活動。子供のボーイスカウト入隊時点で、医師として健康安全委員長を務めたのをきっかけにボーイスカウト活動に関係するようになった。以来二十余年、現在は団委員長として全体を統率する立場にあるが、医師としてはキャンプ、登山、スキーなどの活動において健康に留意しケガや病気の治療に当たったり、ジャンボリーなどの大会参加に当たっては事前に健康診断を行うなど、健康安全には特に注意を払っている。

第2530地区 会津若松西 松本 栄三 (木材加工)

1961年、地元の県立病院精神科入院患者が社会復帰に備えるための作業療法の協力依頼を受け、特別な目で見たり特別待遇はせず従業員と一緒に行動すれば必ず彼らは納得して働くであろうということを納得して引き受けた。その後、近隣の3病院から同様な依頼があって30年間にわたり、常時5～6人を引き受けて現在にいたっている。

第2530地区 いわき小名浜 水野 汎幸 (塗装)

塗装組合で公園などの環境整備 (ベンチなどの塗装) をした。

第2770地区 川口北 猪狩 忠久 (歯科)

フィリピン・ダウンタウンマニラRCの要請により潮来RCの歯科医・大森先生のグループに参加、歯科医療にロータリーボランティアとして出掛けている。

第2770地区 富代 邑田 二郎 (住宅経営)

地元大学に入学する留学生が地理も分からない中で「アパート探し」に非常に困っていた。留学生に適するアパートを探した上、身元保証人になり日本留学中の相談者になっている。

第2770地区 浦和東 小野 忠彦 (耳鼻咽喉科)

1988年、プールで水死した泳ぎ達者な中学生





26人中4分の3の19人までが鼻孔から入った水が耳に流れ込んで起きる内耳機能障害に起因する水死であることを第89回日本耳鼻咽喉学会で発表した（それまでは、水死はすべて心臓マヒなどで処理されていた）。その後も研究を重ねて、予防についての学説を提示、この学説についての各団体の関心が高まってくるにつれ、講演および指導の要請が多くなってきたが、忙しい合間を見つけ、無料で講演および指導を行っている。（写真）



第2770地区 浦和南 黒澤 和夫（木造建築）

3年前の夏休み、自宅作業場を開放して、無料でちびっ子（小中学生）に木造工作を教えた。参加希望者が多く、2年目からは会場を南浦和小学校校庭に移して2日2回に分けて、ごみ箱、本棚など夏休みの宿題を兼ねた自由作品の製作を楽しんでいる。今年、8月20～21日に実施、今回で4回目。

と題して内外において100回近くの写真展を開催し、一般市民に感銘を与えた。

第2730地区 宮崎 内田 五郎（菓子製造）

桜学園（養護施設）を四季折々に訪問し、自社製のケーキや社員積立金から購入した靴下・日用品などを持参し激励している。

第2580地区 東京小石川 市東禮次郎（弁理士）

①町の発明家の特許取得に関する無料相談に応じて、学生や中小企業の相談があった。②日本のコンピューター化された特許出願手続きの実態を、自発的に外国の弁護士や企業に知らせている。

第2730地区 宮崎南 黒木 重治（印章彫刻業）

学校の依頼により、県内の小中学生に、篆刻を教えている。

ロータリアン企業の
ボランティア活動

第2620地区 藤枝 落合 慎悟（電気工事）

高所作業車による樹木伐採などの作業奉仕をしている。

西部自動車学校

（第2530地区 郡山西 丹治 徹）

毎年、新入学児童（近隣小学校）を自動車練習コースに招いて、交通マナーの訓練をしている。

第2680地区 芦屋川 寺内 設昭（税理士）

確定申告の時期に芦屋税務署の要請によって無料税務相談を行っている。

郡山信用金庫三春支店

（第2530地区 三春 富田 孝男）

毎月第1・3木曜日午前8時～8時30分、支店職員全員（14人）で三春町大町地区の道路清掃を実施している。





北中城村農業開発株

(第2580地区 宜野湾 酒井 常信)

沖縄高等養護学校(軽度の知的障害児が学んでいる)の生徒を毎年4人ほど、1週間から10日間預かって、作業実習(仕事を覚えるためのお手伝い)を引き受けている。

東京電力株豊島支社

(第2580地区 東京池袋 松本 一紀)

①電気安全確保とふれあい活動を実施。緊急通報システム所持者(消防庁と連携)を対象に、消防署員と同行し、漏電点検と簡単なコードの手直しを実施。女子職員による電気器具の安全な使い方などのアドバイスとふれあい活動の実施。②「TEPCO出前寄席」福祉施設利用者を慰問し、落語、漫談、マジックなどの演芸を実施している。

株ハトリ

(第2580地区 東京小石川 羽鳥 武雄)

①棚卸しに際し、有効に使える衣料を分類、まとめて養護施設に寄贈している。②1%運動(利益の1%を寄付する運動)をしている。

スター食品工業株

(第2580地区 東京小石川 森田 禮治)

過去30年間、毎年歳末と夏休みの2回、心身障害児などの施設への慰問物資(ジュース、シロップ、ラムネなど)を持参し子供たちを訪問している。

科研製薬株

(第2580地区 東京小石川 太田 幹二)

①ネパールに対し、抗結核薬(リファンピシン)を低価格で日薬連を通して出荷している。②中国の研究者が農動物薬生産の技術習得のため留学に来たのを何人が援助した。③駒込本社地区のテニスコート、滋賀県瀬田の工場の運動場を近隣に開放した。

キリンビール株横浜工場

(第2590地区 横浜東 橋本 直樹)

1980年から横浜市で展開している「ヨコハマさわやか運動」に参加、毎年春秋キャンペーンに、工場長以下、社員とその家族150人が参加し、工場周辺、生麦駅商店街、高速道路下の路上、側溝のごみ拾い清掃、空き缶・空きビン拾いを実施している。

日栄コミュニティ株 日栄工業株

(第2590地区 横浜東 飯島 清司)

毎週火曜日、第一国道鶴見駅前の地下道の清掃事業を行っている。

東京電力株鶴見支社

(第2590地区 横浜東 村松 紀光)

通勤ルート(鶴見地下道付近)の清掃を毎月1回15年間にわたり30人程度の職員が欠かさず実施している。

株内藤・内藤アカデミー

(第2590地区 川崎中 内藤 幸彦)

飢餓時の募金など、難民支援やボランティアへの支援活動。

株高知銀行

(第2670地区 高知南 吉原 強)

銀行前の堺町歩道橋の清掃活動実施。1978年から始めて、現在に至っている。

N T T土佐中村支店

(第2670地区 中村南 田中 靖司)

①トンボ自然公園の整備活動に協力。②中村市天神橋アーケード内でチャリティーバザーなどを実施、収益金を四万十川清流保全基金ほかへ寄付した。③電話お願い手帳150冊、ふれあい速達便(FAX用紙)70部を中村市に贈呈。④「N T T夏休み少年野球大会」を開催。⑤四万十川清掃活動への参加など、多方面にわたりボランティア活動を実施している。





ハレルヤ製菓株

(第2670地区 徳島西 岡 邦光)

①文化と健康の新空間としての「阿波の里」を作った。②地域社会に何か貢献できるものはないかと考え1966年から2～3人の文化人を招き「謝恩文化講演会」を年1回のペースで開催、昨年で28回になった。

新聞西衣料サービス株

(第2680地区 芦屋川 石田 博美)

①30人の重度障害者(身体・知的)を雇用している。この業績に対して、近隣の養護学校、授産施設、ろうあ学校などから毎年1～2週間ぐらい、指導してほしい旨の要請があるが、これに応じて「職場実習」を実施している。②上記の障害者雇用問題について、学校、公民館、親の会、教育委員会などからの講演依頼に応じている。

関西電力株淡路営業所

(第2680地区 洲本 岩尾 健一)

①ボランティア休暇の実施——非営利で政治・宗教色のない公的機関または地域団体が主催する社会奉仕活動、地域団体の役員である従業員がその主要スタッフとして行う地域活動を休暇日または休日に行う場合で会社が個別に設定する。②マッチングギフト——従業員が一定期間継続して活動している公的な社会福祉団体に対し従業員個人が寄付を行う場合、年間1件当たり10万円を限度に同額の寄付を行う。③施設機材貸与——従業員が所属し恒常的に活動している公的福祉団体または地域団体の諸活動のために事業所の集会室や厚生施設、機材を会社事務に支障のない範囲で貸与する。

NTT洲本支店

(第2680地区 洲本 下中 正男)

女性フォーラム(女性社員99人で構成)メンバーによる老人ホームの慰問を、年2回程度行っている。

三菱石油株水島製油所

(第2690地区 倉敷南 細村 省三)

少年サッカー教室を開催して、地域の青少年健全育成の手助けを行っている。

中国電力株

(第2690地区 倉敷南 吉村 光紀)

広島アジア大会を前に、社員の多数がボランティアとして参加協力している。また、構内において多彩な催しを繰り広げ、地域の皆様方に参加してもらっている。

三井造船株玉野事業所

(第2690地区 玉野 日下 光)

①海開き前の渋川海岸清掃奉仕。②玉野青少年スポーツセンタープール清掃。③毎月第2土曜日に朝市を開催。

株松香商店

(第2690地区 玉野 松香 彰)

①交通協力員(通学児童の交通安全指導。一般交通安全への指導と協力。地区内交通安全事業への参加と協力)。②岡山県勝北町へ乗用車を寄贈。③佐賀県神埼郡神埼町へ公園の遊具寄贈。

株ゼネラルアサヒ

(第2700地区 福岡城東 松岡 弘明)

プロ野球ダイエーホークスと協力して、秋山外野手、若田部投手の2選手をモデルに、骨髄バンクヘドナー登録を呼びかける大きなポスター1,000枚を制作した。

古賀企業グループ

(第2740地区 諫早北 古賀 哲郎)

諫早西RCが1989年から年1回開催していた「ロータリー・チャリティーコンサート」を、主催者として引き受け「いさはやチャリティーコンサート」と改め1992年から実施。青少年に音楽に対する興味を深めてもらい、技術向上とともに健全育成に寄与することを目的としている。

